

広報 かるまい 2

平成24年（2012年） No. 635



ウインナーは
1つでいいかな？

今月の主な内容

- 晴山小がロープジャンプ東北大会へ ... 2
- 町民意識調査の結果 4～5
- 町職員の給与を公表 6～7
- 農業委員会だより 8

小軽米保育園で1月24日に開催されたバイキング形式の昼食。年長組の子どもたちは、年下の子どもたちに優しく声を掛けながら、料理を取るのを手伝ってあげていました。（13ページに関連記事）

ロープジャンプ東北大会へ

～ロープジャンプとは～

10人以上の友だちと一緒に跳ぶ大なわとび。
「跳んだ回数×人数」のポイントと、跳んでいる人が
ロープの外のメンバーと入れ替わったときのポイントとの
合計で競うチームスポーツ。必要なのは1本のロープと
固いチームワーク！！ (公式ホームページより)



27人で東北へジャンプ

interview



小笠原義生くん

高得点目指す！

できるだけ多く入れ替わって、高得点を目指したいです。練習の時からみんなきで声をかけあって、本番でもしっかりと声をかけていきたいです。



はるの 笹山春乃さん

気合い入れる！

みんなでたくさん跳べるように、大きな声で気合いを入れたと思います。入れ替わりの間をあげないようにして点数アップを目指します！

晴山小学校(圃田清和校長 児童104人)の6年生で構成する晴山ファイターズが、2月19日に宮城県多賀城市で開催される「第3回パナソニックキッズスクールCUPロープジャンプ小学生No.1決定戦東北地区予選大会」の出場を決めました。

昨年の11月、「何か思い出に残ることをしたい」「学校の絆を深め、中学校につなげていきたい」という思いで取り組み始めたロープジャンプ。東北地区大会に出場するには、映像審査を通過しなければなりません。同校は、短い期間ではあったものの集中して練習に臨み、見事に映像審査を通過。岩手県からは、同校の他に平泉小(平泉町)と矢沢小(花巻市)が出場する予定です。

全国高等学校選抜卓球大会岩手県予選

小林杏里さん(軽米高)が優勝

全国高等学校選抜卓球大会岩手県予選が1月15日に花巻市で開催され、軽米高校卓球部の小林杏里さん(1年)が、見事優勝を果たしました。3月23日に秋田市で開催される全国大会に出場します。

順調に勝ち上がり迎えた準々決勝。対戦相手は中学校最後のの中総体で敗れた選手。お互い2セットずつとり迎えた最終セット、小林さんは6対10と先にマッチポイントを奪われてしまいます。しかし「絶対にあきらめない」と強い気持ちで戦ったと試合を振り返る小林さんは、その後6

ポイントを連続で奪取。12対10と逆転で勝利しました。準決勝をストレート勝ちし迎えた決勝戦、セット数1対2で迎えた4セット目。準々決勝と同じく先にマッチポイントをとられてしまいます。しかしそこから逆転で勝利し優勝を決めました。

小林さんは「いつもはリードして負けることが多いので今回の優勝はうれい。全国大会は、小学校2年生以来で本当に久しぶり。楽しみながら一つでも多く勝てるように頑張りたい」と笑みを浮かべていました。



全国大会出場を決めた
小林 杏里さん
(軽米高校1年)

ごはん・お米とわたし作文コンクール

小野寺君、中島君が入選 学校奨励賞も受賞

第36回「ごはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクール(「J A 岩手県中央会など主催)の作文部門で、小野寺君の作品は「翔君君(2年)」が最高賞となる岩手県知事賞、中島君(3年)が優秀賞、小野寺君が学校奨励賞を受賞しました。また、小野寺君の作品は全国コンクールの優秀賞に輝きました。家で飼料用米の作付けが始まったことについて考えた小野寺君の作文、東日本大震災による稲作への影響から、農作物への感謝の気持ちなどを考えた中島君の作文は、J A 岩手県中央会のホームページから見るができます。



全国コンクールで優秀賞を受賞した小野寺君(右)と岩手県コンクール優秀賞を受賞した中島君

「軽米柔道スポーツ少年団」活躍光る

第20回八戸まべちライオンズクラブ杯三八地区少年柔道親善大会(八戸市柔道協会主催)が昨年11月27日、八戸市武道館で開催され、軽米柔道スポーツ少年団(小林一幸代表)の鶴飼穂香さん(笹渡小、写真前列右から2人目)が女子2年生の部で2年連続となる優勝を果たしました。また同3年生の部で菊敷山杏寿さん(晴山小、写真前列右)、同5年生の部で本田真成さん(晴山小、写真前列左から2人目)、男子5年生重量級の部で小林星輝君(晴山小、写真前列左)が3位に入賞しました。



大会で好成績を残した軽米柔道スポーツ少年団の選手たち

介護サービスの充実に向けて 町民の意向を調査

町では、平成23年10月に町統計調査員を通じて町民意識調査を実施しました。今回は「町の介護について」をテーマに、町内に在住する5000人を対象に実施。そのうち92.4%にあたる462件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。

【問】健康や福祉について不安を感じているか？

①「感じている」 75.2%
②「感じていない」 24.8%
＜結果概要＞

40代以上の人に「不安を感じている」という回答が多く、40代・50代・60代でその割合が80%を超えている。

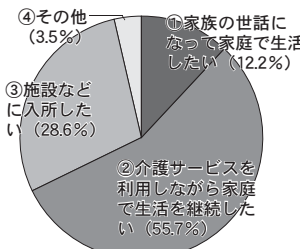
【問】健康づくりや介護予防として気をつけていることは？

①定期的に健康診断51.7%

②食事の栄養バランス 48.1%
③規則正しい生活 40.4%
＜結果概要＞

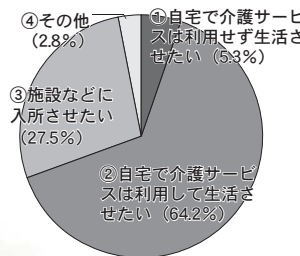
60代・70代は気をつけている項目が多く、健康づくりや介護予防の意識が高いことが分かった。一方で働き盛りの40代では「毎日運動している」が2.9%と全体を通じて最も低く、「特に気をつけていない」は24.3%に上った。「歯や口腔の健康に気をつけている」は20代が最も高く31%に上った。

【問】あなたが将来、もしも介護が必要になった場合どう過ごしたいか？



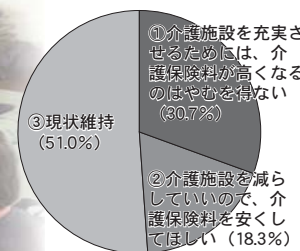
理由一覧（抜粋）
①金銭面が不安。できれば自分の子どもにみてもらいたい。
②介護する家族が大変だから、介護サービスをうまく利用したい。入所は利用料が不安。自分の家が一番落ち着く。
③家族に負担や迷惑をかけたくない。介護してくれる人がいない。子どもには子どもの人生がある。施設には介護のプロがいる。

【問】あなたの家族が将来、もしも介護が必要になった場合どのように関わりたいか？

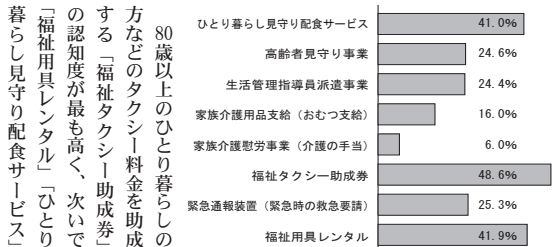


理由一覧（抜粋）
①本人にとって一番よいと思う。自宅の方が気楽に生活できると思う。
②無理せず上手に介護したい。できるだけ今まで通りに過ごさせたい。重度の場合は入所を考えるが。
③現在家で介護していて大変。施設入所の方が安心。仕事などで介護ができない。

【問】介護保険サービスと介護保険料の負担について



調査対象者
町内に住者500人（永久選挙人名簿登録者から層化抽出法により選定）
調査方法
町統計調査員による訪問留置き調査
調査日：平成23年10月10日
有効回収数：462件 有効回収率：92.4%
回答者内訳
男性202人 女性255人 無回答5人
20～29歳(42人) 30～39歳(49人)
40～49歳(70人) 50～59歳(110人)
60～69歳(110人) 70歳以上(78人)
無回答(3人)



町の主な福祉サービス
◆ひとり暮らし見守り配食サービス
ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯へ、見守りを兼ねてお弁当を配達
◆ひとり暮らし高齢者見守り事業
定期的に訪問または電話で安否確認
◆生活管理指導員派遣事業
介護保険対象外の方への、日常生活の支援
◆家族介護用品支給事業
在宅介護の対象者へ、紙おむつ・尿とりパット、リハビリパンツなどを支給
◆家族介護慰労事業
在宅サービスを最小限利用し介護している家族へ慰労金を支給
◆福祉タクシー助成券
ひとり暮らしの高齢者などに、町内タクシー会社の助成券を交付
◆緊急通報装置
緊急時に救急要請できる電話を設置
◆福祉用具レンタル
吸引機、ベット、車いすなどのレンタル

定例調査分

【問】軽米町はあなたにとって住みよいところですか？

④非常に住みにくい(4.0%)
③やや住みにくい(16.8%)
②まあまあ住みよい(63.7%)
①非常に住みよい(15.5%)

【問】現在住んでいる所に住み続けたいですか？

④分らない(15.3%)
③他市町村に転居したい(9.1%)
②町内の別な所に住みたい(6.2%)
①住み続けたい(69.5%)

【問】町で特に力を入れてほしい施策は？（複数回答）

1位 保健・医療 (14.6%)
2位 産業振興、雇用確保 (14.5%)
3位 老人福祉 (11.1%)
(参考) 4位 除排雪の充実
5位 子育て支援

今後のまちづくりに向けた提案など

- ・眼科や耳鼻科などもあればよい。
- ・若者が農業をしたいと思える環境支援を。
- ・若者の交流、情報交換の場を。
- ・若い人が軽米に残れるような企業や、結婚できるように大規模なイベントを開催してほしい。
- ・グリーンツーリズム的な交流体験をもっと充実させてほしい。
- ・議員の報酬制についての議論や、町職員の資質向上などが必要では。
- ・ボランティアで草刈りや除雪など、高齢者を助けることが必要。
- ・温泉施設を整備してほしい
- ・民間にできる仕事は、地元業者にさせてもらいたい。

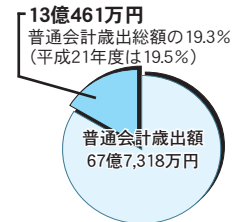
■町民意識調査の詳しい結果については、役場1階の町民ホールにて公表しています。
【問い合わせ先】役場総務課・企画グループ（☎46-2111）

町職員の給与を公表

町の福祉や保健、教育、道路の維持管理、産業振興などさまざまな分野の業務を行う町役場には、154人の職員（平成23年4月1日現在で特別職を除く）が従事し、その給与は町の条例・規則で決められ支給されています。今回は、平成23年4月1日現在の状況についてお知らせします。

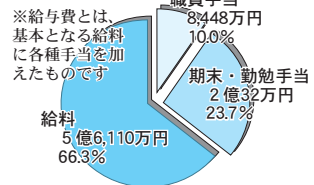
【問い合わせ先】
総務課・総務グループ
(☎ 4 6 - 2 1 1 1)

●人件費（平成22年度普通会計決算）



●職員給与費の内訳

（平成23年度一般会計当初予算）
・給与費総額 8億4,590万円
・職員1人あたりの給与費604万円
（職員数140人）



平成22年度のラスパイレス指数

91.7

県内34市町村中28番目
（県内市町村平均95.5）

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の軽米町の水準を表します。

100より大きいと国より給与水準が高く、逆に小さいと低いことになります。

●一般行政職員の平均給料月額及び平均年齢（H23.4.1現在）

	平均給料月額	平均年齢
軽米町	327,100 円	46.5 歳
国	327,205 円	42.3 歳
岩手県	342,045 円	43.3 歳

●職種別・学歴別初任給及び経験年数別平均給料月額（H23.4.1現在）

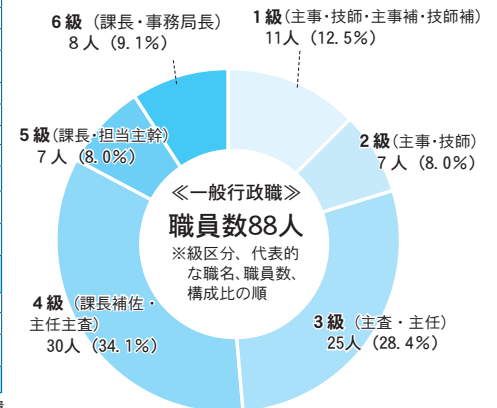
		初任給	経験10年	経験15年	経験20年
一般行政職	大学卒	172,200円	254,200円	300,800円	330,000円
	高校卒	140,100円	229,300円	267,700円	304,200円
労務職	大学卒	172,200円	254,200円	300,800円	330,000円
	高校卒	137,200円	203,600円	236,200円	262,500円

●部門別職員数（各年とも4月1日現在）

区 分		職員数			主な増減理由
部 門		H22	H23	増減	
一般行政	議 会	3	3		
	総 務	29	29		
	税 務	8	8		
	民 生	41	38	△3	円子児童館廃館(△2) 保育園保育士配置(1) 老人福祉施設派遣(△2)
	衛 生	9	10	1	健康福祉課職員の配置
	農林水産	12	12		
	商 工	4	4		
	土 木	8	8		
	小 計	114	112	△2	
	教 育	23	23		
特別行政	小 計	23	23		
普通会計 計		137	135	△2	
公営企業等会計	水 道	5	5		
	そ の 他	14	14		
	小 計	19	19		
合 計		156	154	△2	

（注）職員数は一般職。地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く

●一般行政職の級別職員数の内訳（H23.4.1現在）



●各種手当の支給状況（H23. 4.1現在）

期末勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	6 月 期	1.225月分	0.675月分
	12月 期	1.375月分	0.675月分
	計	2.6月分	1.35月分

※職務の級等による加算措置（役職加算5～10%）有り

退職手当		自己都合	勤奨・定年
	勤続20年	23.50月分	30.55月分
	勤続25年	33.50月分	41.34月分
	勤続35年	47.50月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分
1人当たり平均支給額		22,964千円（平成22年度に退職した全職員への支給額の平均）	

通勤手当	①交通機関利用者は運賃相当額（限度70,000円） ②交通用具利用者は2km以上に2,000円から22,000円の範囲で距離に応じて支給
扶養手当	配偶者：月額13,000円 配偶者以外：1人につき6,500円 ※配偶者のない場合…1人については11,000円 ※15歳～22歳の子の場合…5,000円を加算
住居手当	借家、借間は月額12,000円を超える家賃の額に応じて最高27,000円まで支給
管理職手当	課長級職員へ月額給料に4～5%を乗じた額
休日勤務手当	休日勤務した職員へ1時間当たりの給料単価に25%～50%を乗じた額
日直手当	日直勤務した職員への支給（1回4,200円）

時間外勤務手当（※）	区 分	平成21年度	平成22年度
	支給総額	25,935千円	27,519千円
	職員1人当たり	166千円	178千円

※全職員を対象に計算

特殊勤務手当	支給総額（平成22年度実績）		103千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合		6.7%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		10,295円
	7 徴収手当、防疫作業手当、医師手当、往診手当 特殊自動車運転作業手当、夜間看護手当、用地交渉手当		

●特別職の報酬等（H23. 4.1現在）

区 分	報酬等月額	期末手当
町 長	628,000円	6 月 期 1.40月分
副町長	522,000円	12月 期 1.55月分
教育長	512,000円	
議 長	262,000円	合計 2.95月分
副議長	219,000円	
議 員	195,000円	

※一般職である教育長は参考として掲載しています

●職員研修の実施状況（平成22年度）

	受講者数	主な研修内容
職場内研修	9 人	人材育成研修など
派遣研修	22人	町村会、県外での専門研修

●勤務条件などの状況（平成22年度）

◇勤務時間

週40時間、1日8時間（午前8時30分から午後5時30分まで、休憩時間を除く）

◇年次有給休暇の取得状況（H22.1.1～H22.12.31）

総付与日数	総取得日数	対 象 職員数	平均取得日数	取得率
3,795.4日	1,084.0日	97人	11.2日	28.6%

◇その他の休暇

年次有給休暇以外に、病気休暇、特別休暇（夏季休暇、出産休暇、慶弔など）が認められています。

◇育児休業の取得状況

取得者4人

◇職員の健康管理

全職員を対象とした定期的健康診断、指定年齢健康診断を実施しています。

◇分限処分・懲戒処分の状況

分 限	0人
懲 戒	0人

●定員適正化計画と年次別の進捗状況（表中の（ ）は実績値）

区 分	平成15年【基準】	22年まで	23年【1年目】	24年【2年目】	25年【3年目】	26年【4年目】	27年【5年目】	目標値
減 員【退職】	—	△51 (△57)	△7 (△7)	△16	△6	△6	△10	△45
増 員【採用】	—	18 (15)	5 (5)	6	4	4	4	23
差 引	—	△33 (△42)	△2 (△2)	△10	△2	△2	△6	△22
職員数	198	165 (156)	154 (154)	144	142	140	134	134

軽米町
農業委員会
だより

家族経営協定で 元気な農業経営を目指そう

【問い合わせ先】
町農業委員会事務局
(☎46-4739)

～経営主も家族も、経営のパートナーとしていっしょにがんばるために～

家族経営協定とは？

家族経営協定とは、家族全員が意欲をもって農業経営にとりくめるよう、経営面や生活面について話しあい、決めた事項を文書化するものです。



◎家族経営協定の手順は？

1	まずは、話し合い (農業経営や生活の課題など)
2	対応策を考える (課題の解決のため必要な取り決め)
3	協定を結ぶ (経営目標、労働時間、役割、給料など)
4	協定の実行と見直し (締結内容を点検する)

◎協定を結ぶと何かいいことがある？

- 1、経営主以外も認定農業者になることができる
経営主以外の家族(配偶者や後継者など)が共同で経営を行っている場合、共同で農業経営改善計画の認定申請をすることにより夫婦や親子ともに認定農業者になることができます。認定農業者になると、経営主でなくとも資金の融資などを受けられる機会が増えます。
- 2、農業者年金保険料の国庫補助が受けられる
認定農業者で、青色申告を行っている経営主と家族経営協定を締結し、農業経営に参加している配偶者や後継者も、一定割合の保険料の国庫補助が受けられます。(年齢などの要件あり)
- 3、農地の貸し借り、売買についてのあっせん
農地の貸し借り、売買についてのあっせんの対象者は、担い手農業経営の経営主となっていますが、夫婦共同経営の場合、家族経営協定その他の要件を満たす場合には、夫婦両方を経営主としてあっせんの対象とすることが出来ます。
- 4、エコファーマーの認定を受けられる
家族経営協定を締結している場合、持続性の高い農業生産方式の導入計画の認定(エコファーマー認定)を協定締結者それぞれが受けることができます。

～老後の安心に～ 農業者年金に加入しませんか？

- ・誰でも加入できますか？
国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方です。(農地の所有など不問)
- ・保険料はいくら？
月額2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自分で決めることができます。
- ・農業者年金のメリットは？
支払った保険料は、全額社会保険料控除の対象で、所得税や住民税の節税効果につながります。認定農業者で青色申告をしているなど、農業の担い手となる方には国庫から月額1万円の保険料補助を受けられる場合があります。

全国農業新聞

- 農政の動き、経営・技術、農村生活、地域独自のイベント情報などを掲載しています。
購読希望の方は、地域の農業委員または町農業委員会までお申込みください。
・発行日：毎週金曜日
・購読料：1カ月600円



【問】総務課・総務グループ (☎46-2111)

アナログ放送終了 地デジへの対応を

東日本大震災の影響で延期となっていた岩手、宮城、福島県における地上アナログテレビ放送は、今年の3月31日で終了となります。同日以降は地上デジタルテレビ放送(以下「地デジ」)のみの放送となりますので、地デジへの対応をお願いします。
現在アナログテレビ(右写真)でテレビ放送をご覧にな

っている方は、地デジ対応テレビの購入が必要です。
現在お持ちのアナログテレビをそのまま利用する場合は地デジチューナーを購入することもできます。

情報通信基盤整備事業への申し込みをし告知放送端末などの取り付けが完了している方は、屋外のV・O・N・U(灰色の箱型の機械)からテレビへ線をつなぐ工事をするので、地デジを見ることが出来ます。電波が悪く地デジが見られない場所でも地デジの視聴が可能になります。
この配線工事が終わると、11チャンネルで軽米町独自のテレビ放送「かるまいテレビ」を見ることが出来ます。町からのお知らせを放送する文字放送や、イベントの様子を紹介する番組放送を放送しています。まだ見たことがない方もぜひ一度ご覧ください。

かるまいテレビの 基本放送スケジュール

6:00	文字放送
10:00	番組放送 (イベントの様子など)
12:00	文字放送
15:00	番組放送 (イベントの様子など)
17:00	文字放送
20:00	番組放送 (イベントの様子など)
22:00	文字放送 (翌朝まで)



教育関係者など約90人が参加しキャリア教育の充実に向け理解を深めました

軽米高が、各学校での取り組みを紹介。小軽米中の2年生は、5日間にわたるキャリアスタートウィークの様子を寸劇で紹介し、仕事の内容や感じたことを、表現豊かに発表しました。
また軽米小では、6年生の児童3人が発表。町内で働く人から仕事について話を聞いた後、友だちのよさを見つけ友だちにおすすめる職業を紹介する「12才のハローワーク」などを通して、将来の職業について考えた取り組みを紹介しました。



キャリア教育の取り組みについて発表する軽米小の6年生

町キャリア教育推進フォーラム キャリア教育の充実に向け

キャリア教育推進フォーラム(町キャリア教育推進協議会主催)が1月24日、町農村環境改善センターで開催されました。

県教育委員会事務局学校教育室の加藤暢之指導主事が「岩手のこれからのキャリア教育」と題して講演。社会人、職業人として自立するため、総合生活力と人生設計力の育成を進める県の方針などについて説明しました。

実践発表では、県から事業指定を受けている軽米小、小軽米小、軽米中、小軽米中と

訓練と予防活動に力を 町消防団出初め式

町消防団（山館松五郎団長、団員448人）の平成24年出初め式が1月3日、団員292人と町婦人消防協力隊連絡協議会（工藤郁子会長）

の隊員18人が参加して行われました。式典に先立ち、統監の山本賢一町長と二戸消防署軽米分署の太田清行分署長、団や婦人消防協力隊の幹部らが軽米八幡宮を訪れ、町の安全と団員の無事故を祈願しました。



地域の安全・安心のため気持ちを新たにした町消防団

出初め式は役場駐車場で開催。山館団長が「昨年は東日本大震災や豪雨災害など、災害の恐ろしさを改めて痛感した。地域の安全、安心は住民の最も基本的な生活基盤。教養・訓練に励み、予防活動を強化し住民の皆様への負託に応えるため、団員・協力隊員の皆様には、さらなるご精進をお願いいたします」と訓示を行いました。表彰式では、団員93人への町長表彰、団員を長年支えてきた内助

功労への感謝状が4人に贈呈されたほか、団長表彰では第4分団に優良卒頭級が、15年間無火災の第7分団第4部と第8分団第2部と5年間無火災の第2分団第2部、第3分団第1部、第6分団第3部には、無火災表彰が贈られました。

協働のまちづくりに向け



町内の食の団体による郷土食などを味わいながら町づくりに関して語り合いました

（交通指導隊）

初点検式で決意新たに



山本町長から隊員手帳の点検を受ける隊員

町交通指導隊（永井美保子隊長）と町防犯隊（山館松五郎隊長）の初点検式は1月5日、隊員合わせて12人が参加し役場庁舎前で行了われました。隊員らは、引き締まった表情で服装や警笛、隊員手帳などを点検。点検官の山本賢一町長から確認を受けました。

故の重大性を改めて認識するとともに、関係機関と連携し飲酒運転根絶と交通事故のい明るく住みよい町を築くため一層努力したい」と本年度の決意を表明。また、山館隊長は「犯罪の予防警戒、青少年の非行防止、各種事故などの防止のため、隊員一同力を合わせ努力する」と誓いました。隊員らは、安全で住みよい町に向け決意を新たにしてい

新しい町選挙管理委員が決定

委員長に工藤育子さんを選出

任期満了に伴う新しい町選挙管理委員の任命が、1月18



町選挙管理委員長
工藤育子さん
(仲町、67歳)



委員長職務代理者
平内和男さん
(上野場、63歳)



町選挙管理委員
若山政義さん
(大町、64歳)



町選挙管理委員
山田徳徳さん
(沢田、48歳)

日の町選挙管理委員会で行われました。委員の互選により委員長には工藤育子さん（仲町、再任）が、同職務代理者には平内和男さん（上野場、新任）がそれぞれ選出されました。

【選挙管理委員】

◆委員長

●工藤育子（仲町）

◆委員長職務代理者

●平内和男（上野場）

◆委員

●若山政義（大町）

●山田保徳（沢田）

※勤は新任、●は再任

【選挙管理委員補充員】

①内澤多賀志（仲町）

②大村隆男（下円子上組）

③福田省三（軽米駒木）

④水上金明（山口）

※○は補充員番号

人権擁護委員に笹山結実男さん

前任の本田さんには感謝状



笹山結実男さん
(新井田、50歳)

町の人権擁護委員に、笹山結実男さん（新井田、50歳）が委嘱され、1月12日に委嘱状交付式が行われました。任期は平成24年1月1日から3年間です。

また、これまで同委員を務めてきた本田君香さん（観音林東）への感謝状贈呈式が、同日行われました。感謝状を受け取った本田さんは「これまでの経験を何かしらの形で生かしていきたいと思います」と今後の抱負を述べていました。



盛岡地方方法務局二戸支局長からの感謝状を受け取る本田さん（左）

宝くじ助成金で除雪機を購入



宝くじの助成金で整備した除雪機（写真は笹渡小中学校）

町は、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、除雪機2台を購入しました。笹渡小中学校と軽米小中学校で、通学路などの除雪に活用されます。

町子ども会 卓球大会 結果

1月8日
町民体育館
24チーム参加



【優勝】笹渡連合A



【優勝】円子グリーン

各トーナメントの結果（○に数字は順位）

■チャンピオントーナメント（予選1位組）

【A】①笹渡連合A ②晴城A
③小軽米エース、米田フレンズ
【B】①円子グリーン ②増子内デラックス
③小玉っこサンダー、笹渡連合B

■チャレンジトーナメント（予選2位組）

【A】①山内1区 【B】①高清水
■ほのぼのトーナメント（予選3位組）
【A】①向川原 【B】①野場エンジェルスB



おにぎりやおかずを取り分けてあげる年長組の園児

手作りおにぎりを披露

小軽米保育園でバイキング体験

小軽米保育園は1月25日、年長組の子どもたちがバイキング形式でお昼ご飯を提供する「年長クッキング」を開催しました。年長組の子どもたちは、バイキングの準備で昆布やサケなどのおにぎり約100個を調理。バイキングでは、小さい子たちに必要な量を聞きながら、手作りのおにぎりと給食のおかずなどを取り分けてあげました。野菜の盛り付けをした小林 龍和君は「初めてやったけど面白かった。おかわりを3回もした」と話していました。

もちつき「よいしょー」

軽米保育園でみずき団子の会

軽米保育園は1月13日、みずき団子の会を開催しました。みずき団子の飾りつけを行ったほか、年長組の子どもたちは一人ずつもちつきを体験。「よいしょ、よいしょ」という友達のはらかの掛け声に合わせて力強くもちをつきました。鶴飼遙ちゃん(6歳)は「初めてもちつきをしたけど面白かった。おもちがおいしかった」と笑顔を見せていました。また、牛乳パックや紙皿で作ったコマ回し、羽子板などの、お正月遊びを楽しみました。



園長先生と一緒にもちつきを楽しむんだ園児たち



安比高原スキー場での少年少女スキー教室に参加した子どもたち

白銀のゲレンデ気持ちいい

スキー教室

少年少女スキー教室が1月10日と11日に安比高原スキー場で開催され、町内の小学生18人が参加しました。また1月22日には町民スキー教室が八幡平リゾートスキー場で開催され、小学生から大人まで16人が参加。参加者たちは、町スキー協会のメンバーによる指導のもと、白銀のゲレンデを気持ちよく滑り降りしました。

本年度は今後、2月12日に安比高原スキー場で町民スキー教室が予定されています。

学びの心いつまでも

「第39期寿大学」修了式

60歳以上の方を対象とした学びの場、高齢者教室「寿大学」の最終講座と修了式が、昨年12月22日に中央公民館で開催されました。

5月にスタートした講座は、歴史や文化、スポーツなど、さまざまな分野にわたって全10回にわたって開かれました。最終講座では1年の学習を振り返ったほか、修了式では本年度6回以上受講した56人に修了証が、10講座全てを受講した11人に皆勤賞が贈られました。



学長の中野新一教育長から修了証や皆勤賞が贈られました

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

下音更小学校スケートリンクで「初心者スケート教室」が開かれました。4歳から9歳までの子どもたち50人は、習熟度別に5つのクラスに分かれて練習。最初は歩くことができなかった子も、先生や友達と一緒に楽しみながら上達することができました。



小さなスケート靴を履き頑張る子どもたち

立派な門松がお出迎え

シルバー人材センターで門松寄贈

町シルバー人材センター会員の菅原隆さん(桜山)、戸草内仁三郎さん(向川原)、若山重雄さん(同)と戸草内石蔵さん(同)から町に昨年12月24日、手作りの門松1対が寄贈されました。また、役場の他に町内の老人ホームなど合わせて5カ所に門松を贈りました。

同センターからの寄贈は6年前から行われており、今年も年末年始の期間、来庁された方を堂々と出迎えていました。



役場や町内の福祉施設などに門松を寄贈したシルバー会員



大清水地区の大豆と米麹を使ったみそ造り教室

こだわりの材料で造るみそ

みそ造り教室

大清水地区営農組合(小西寿組合長)と大黒醤油株式会社(坂本剛社長)主催のみそ造り教室が1月22日、同社で開催され約20人が参加しました。今回は同組合が有機栽培した大豆「リュウホウ」と無化学肥料栽培の米で作った麹を使ったみそ造り。参加者は、手や足を使ってみそ造りに汗を流しました。大向一成さん(中村)は「大豆栽培の手伝いをした縁もあり初めて参加した。大黒醤油の味噌はおいしいから完成が楽しみ」と話していました。

お正月行事で懇親深める

手をつなぐ育成会もちつき大会

軽米町手をつなぐ育成会(蛇口優子会長)は1月5日、町老人福祉センターで毎年恒例のもちつき大会を開催しました。身体障害者小規模通所授産施設こぶし福祉作業所の利用者や家族を中心に約40人が参加。もちつきやみずき団子飾りなどを行い、新しい年のスタートを切りました。

同会では、夏の遠足や新年のもちつき大会などの活動を通して懇親を深めており、もちつき大会は30年以上続く新年の伝統行事となっています。



もちつきやみずき団子の飾りつけなどを楽しみました

笑顔あつまれ！ みんなの広場

キラキラ光る

夢・希望・えんぴつ



青山中学校2年
戸田 沢 ひなの さん
(大久保)

私たちの生徒会では、今年度の始めに「ONE STEP」ためめ努力のその先に！！」を年間スローガンとして掲げました。そして、後期の活動方針として「63名で正しき一歩を！」を掲げ、生徒会活動をしています。

ONE STEP

合唱・時間厳守・学習面の3つに重点を置いて活動する中で、特に時間厳守と学習面については、毎月項目を絞って取り組んでいます。しかし、一度の取り組みで大きな成果を出すことは難しく、生徒会執行部が望むような成功はまだ収められていません。ですが、少しずつ生徒一人ひとりの意識が改善され、学校の雰囲気が変わってきていることを実感しています。

晴山中学校には、まだ多くの課題があります。しかし、今までのように一つひとつの活動に真剣に取り組んでいけば、全校生徒63名で、晴山中学の生徒として正しい一歩を踏み出せると思います。時には、私たちの前に、大きな壁が立ちはだかることもあると思いますが、晴山中学校のよりよい発展のため、精一杯努力してまいります。



プライフーズ株式会社
第一プロイラーカンパニー軽米工場
(向川原)

向川原地区のプライフーズ株式会社第一プロイラーカンパニー軽米工場で働く大谷地さん。昨年4月から今の仕事につき、プロイラーの解体作業などに汗を流しています。また、中学校から始めた卓球を今も続け、町内の中学生への指導なども行っています。

Q、仕事はどうですか？
地元で就職したいと思っていて、親から仕事の話を聞いたりしているうちにここで働いてみたいと思い選びました。仕事はやりがいがあり、職場の先輩も

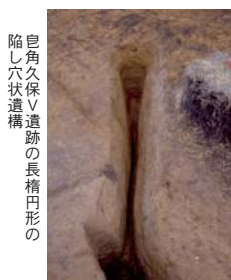


まさる
大谷地 大 さん
(19歳、笹渡)
身長168cm、A型
第一プロイラー軽米工場

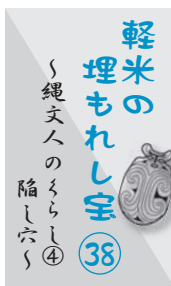
笹渡にもコンビニがほしい

とても優しく楽しいです。
Q、自分の性格を一言で言うって？
にぎやかで、うるさいかもしれません。
Q、趣味や休日にやることは？
友だちとドライブに行ったり、一緒に温泉に行ったりします。最近スノーボードを始め、九戸や奥中山高原スキー場に行っています。
Q、あなたの夢は？
宝くじをあてること！
Q、町をどう思いますか？
いい感じの田舎で、自分にとってはちょうどいいです。できれば、笹渡にもコンビニが欲しいです！
▼好きなスポーツ：卓球
▼好きな色：赤
▼好きな花：ひまわり
▼好きな食べ物：ラーメン
▼好きな映画：パイレーツオブカリビアン
▼欲しい物：マイホーム
▼今の悩みは：冬道が怖いです
▼理想の異性のタイプ：おっとりした人。芸能人というところと垣根を越えたい人がタイプです。

★当コーナーでは、町在住、または町で働く若者を紹介しています



巨角久保V遺跡の長楕円形の
陥し穴状遺構



縄文人の暮らし④
陥し穴

縄文時代の食生活を想像する時、弓矢などの狩猟道具を使って獲る動物や魚介類などの肉食が中心だったと考えられた時代もありました。

しかし、シカやタヌキなどの獣は、発見して仕留められる確率が高いとは言えず、また獲り過ぎると数が簡単に回復しないため、狩猟には集落の周辺で適度な捕獲数の調整が必要となります。

そのため現在では、クリやトチの実などの植物の方が、安全にしかも毎年安定的に収穫できるため、食料として大きな比重を占めていたと想定されています。

こうした狩猟採集をした跡として最も分かりやすく数多く発見されている遺構が「陥し穴」と呼ばれる、獣を追い込んで落とすと考えられる土坑の一種です。

円形の陥し穴は、直径が1.5m、深さ0.5〜1.5mほどで、底に逆茂木（先を尖らせた杭）を立てたような小さな穴があり、落ちた獣が刺されたと考えられます。細長い楕円形のものの写真は、開口部が長さ2m×幅0.5〜1mほどで、底がすばまり幅10cm×深さ1.5mの細い溝となっていました。獣が落ち込むと足が嵌まって動けなくなるものでしょうか。

町内では、大堤Ⅱ遺跡（晴山小学校前交差点）で縄文時代前期の円形陥し穴が15基、巨角久保V遺跡（同400m付近）で同じく11基が一列に並び、また長倉IV遺跡では後期の円形と楕円形の陥し穴が18基とまって発見されています。

縄文の狩人は、弓矢や槍で小型獣や鳥を射止めた後、こうした狩り場を上手く使い陥し穴に追い込んで捕獲して、イノシシやシカなどの大型獣の貴重な肉を獲っていたでしょう。

(教育委員会学芸員 藤田直行)

今月の俳句

(北光吟社12月例会句会)

災害の多き書き込み古眉

丹下美恵子

恙なきことの幸せ秋仕舞

千葉紅園

ばたん雪羽毛のごとく地を覆い

川崎郁子

あの時の被災証言身にぞしむ

松村英子

我が家計仕分けも出来ぬ年の暮

早川慶子

雪の朝愛犬連れのお二人

川島由蔵

山彦の返る盆地や除夜の鐘

中野とき

正月のみ揃ふ六人家族かな

三上千栄女

強風からまつ落葉痛きほど

中田紀子

※町文化協会「北光吟社」の例会より俳句を紹介しています

2月 February

16	木	
17	金	生活習慣病教室【ふ】 13:00～14:00
18	土	
19	日	第34回町総体・卓球競技【休】
20	月	
21	火	ふれあい共食事業【向川原自治公民館】 10:00～13:30
22	水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】 10:00～12:00
23	木	うまっこ教室【ふ】 9:30～12:00
24	金	ふれあい共食事業【小玉川生活改善センター】 10:00～13:30
25	土	図書館ひろば【図】 10:00～
26	日	夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】（～28日）
27	月	
28	火	
29	水	町税の納期（固定資産税4期、国民健康保険税8期） ふれあい共食事業【公】 10:00～13:30

3月 March

1	木	子どもの発達相談【ふ】 9:30～15:00
2	金	読書のつどい【公】
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	ふれあい共食事業【上門子自治公民館】 10:00～13:30 【下新町自治公民館】 10:00～13:30
7	水	乳児健診【ふ】 13:00～13:30受付
8	木	うまっこ教室【ふ】 9:30～12:00
9	金	ふれあい共食事業【小玉川生活改善センター】 10:00～13:00 【増子内農村振興会館】 10:00～13:30
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】 10:00～12:00
15	木	

（カレンダー中の【 】は開催場所で下記ののとおり表示します）
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター プ:雪谷川ダムファリスパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場

スナッフ写真館

消防団出初式
（1 / 3、町中心部）

お知らせ情報 Information



寒空に響き渡るラッパ隊の勇壮な音色



消防団員や婦人消防協力隊が引き締まった表情で臨みました



団員らによる分列行進の後ろを、計30台の消防関係車両が走行



防災への気持ちを新たにした消防出初式でした

こころサロン二戸 語り合いましょう

身近で大切な人を突然自死で亡くされた方は、なすすべもない大きな深い悲しみを経験します。こうした同じ体験を持つ方々が語り合いながら気持ちを分かち合い、お互いに支えあう場がこころサロンです。誰にも話せなかった思い、少しお話ししてみませんか。

▶日時：2月24日（金）午前10時から11時30分
 ▶場所：二戸地区合同庁舎
 ▶参加対象：ご家族など身近な方を自死でなくされた方

※匿名での参加も可能です。お話を聴くだけで、話したくないことは話さなくて構いません。個人の秘密や情報は守ります。

※当日の参加も可能ですが、事前に下記までご連絡をお願い

します。
 【問い合わせ先】二戸保健所・保健課（☎23-9206）

確定申告書は 早めの準備を

平成23年分の所得税と贈与税の申告と納税の期限は3月15日（木）で、個人事業者の消費税及び地方消費税の申告と納税の期限は4月2日（月）です。申告や納税が遅れると、加算税や延滞税がかかる場合がありますので早めの手続きをお願いします。

◎確定申告書作成会場
 ▶期間：2月1日（水）～3月15日（木）土日祝日除く
 ▶場所：二戸税務署1階
 ※申告書の作成や納税は、気軽に便利な「e-Tax」（国税電子申告・納税システム、事前手続き必要）をご利用くださ

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

小野寺クリニック (☎46-2822)	軽米町門前	2月19日（日）	森川歯科医院 (☎23-6361)	二戸市堀野
おりそ内科循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市福岡	26日（日）	沢藤歯科医院 (☎25-4002)	二戸市堀野
浄法寺診療所 (☎38-2021)	二戸市浄法寺	3月4日（日）	国香歯科医院（裏小路） (☎23-2223)	二戸市福岡
松井内科医院 (☎33-2201)	一戸町一戸	11日（日）	関歯科医院 (☎38-2937)	二戸市浄法寺

もしもの時に備えてますか？

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中

宿泊室完備…24時間いつでも病院から直接入室できます。

お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館

24時間受付 電話46-4109

軽米セレモニーホール眞照堂

岩手県九戸郡軽米町大字上館15-130-1

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

自動車の検査や 登録はお早めに

毎年自動車の検査、登録手続きが3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。手続きはできるだけ2月中に済ませま

いわて農業入門塾 受講生を募集します

▶内容：野菜栽培（キャベツ、レタス、にんじん、だいこんなど）の実習・体験
 ▶対象：県内在住の就農希望者



好評発売中
 軽米町産さるなし100%使用
さるなしの雫
 （甘口、リキュール）
 500ml ¥1,260（税込み）

販売元・お問い合わせ
 リカー&フーズこばやし(TEL46-2059)

みそ造り教室を開催

味噌10%持ち帰り！

■開催日（時間…9時半～12時）
 ①2月18日（土）②2月25日（土）
 ③3月8日（木）④3月25日（日）
 ⑤4月6日（金）

■料金 3,500円（②は5,000円）

※各先着40名。下記までお申し込みを!!

【申し込み・問い合わせ】大黒醤油 TEL45-2820

みそ豆
仕込みそ
好評受付中



ダイコク



冠婚葬祭 12月分 ＜敬称略＞

おめでた

() 内は父母の名

鶴飼 鶴飼	あんり	杏里	(哲也・美穂子)
緑ヶ丘 鶴飼	りん	綾	(弘貴・千春)
長倉 畑澤	まさ	将斗	(清隆・めぐみ)
仲町 大清水	むら	紫月	(浩幸・彩子)

おしあわせに

{ 坂本 香祐	(板橋)
{ 中村 真琴	(新大島)
{ 坂上 立	(和当地)
{ 中村 美穂子	(九戸村)

おくやみ

() 内は享年

上尾田 中里	タマ	(80歳)
百目金 中野	金太郎	(82歳)
本町 蛇口	石松	(72歳)
上館 菅波	康穂	(76歳)
本町 下谷地	了子	(61歳)
向高家 小澤	ハツノ	(86歳)
上増子内 戸草内	ナカ	(97歳)
下晴山 古里	エス	(89歳)
下河南 高坂	倉造	(91歳)
下新町 田畑	タツ	(83歳)
新光団地 尾田川	秀雄	(80歳)
上円子 浅水	幸吉	(93歳)
下増子内 渡邊	由藏	(94歳)
上河南 兼田	直典	(96歳)
下新町 駒目	ツエ	(73歳)
上新町 西館	建夫	(68歳)
蓮台野 瀧澤	イワ	(89歳)
本町 工藤	清	(85歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き ＜平成23年12月31日現在／町民生活課調べ＞

男 5,153人(－3) / 女 5,329人(－6)

合計 10,482人(－9) / 世帯数 3,767(－1)

※() は前月比

転入 18人(221人) / 転出 11人(247人)

出生 4人(52人) / 死亡 20人(159人)

※() は1月からの累計

-人形劇サークル「じゃんけんぽん」-



昨年、結成から20年を迎えた人形劇サークル「じゃんけんぽん」(湯川友子代表)。図書館主催の「読書ボランティア講座」を受講したメンバーを中心に平成4年に「じゃんけんぽん」として活動を開始しました。人形劇で使う人形(写真)はほとんど全てが手作りです。現在は主に、乳児健診や小学校での読み聞かせなど、子どもたちと本のかけ橋になることを願い活動しています。

「じゃんけんぽん」では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。心に残る手作りのあったか〜い人形劇を、共に目指しましょう！

【問い合わせ先】軽米中央公民館 ☎46-41511

わ・がるまい19



我が家の人気者

あこやがさん

「将来はお花屋さんかケーキ屋さんになりたい」と話す、まやちゃん。弟のみらいくんは、仮面ライダーフォーゼやゴカイジャーが大好きです！

(両親から一言)

人に優しく、笑顔を絶やさず、健康でいてください！

吉田 茉矢 ちゃん (5歳6カ月)
光 来 くん (3歳11カ月)

愛称：マーちゃん、ミーくん

(門前) 育喜さん・明子さんの長女、長男

ほっとひといき／編集後記

寒さが厳しい毎日ですが、今月も広報にはホットな話題が盛りだくさん。ロープジャンプ、卓球、柔道、作文など素晴らしいですね！ロープジャンプの練習を見ましたが、ただ跳ぶだけならまだしも、入れ替わりはなかなか難しそう。固いチームワークで全国大会を目指してほしいです！

取材がてら、妻と母と妹とみそ造り教室に参加。取材で何度か見ているものの体験は今回が初。手でこね足で踏んでしっかり混ぜあわせ、約1時間くらいで作業が終了。いい運動になりました！まあでも私がやったのは5分くらいなんですけどね…10月の完成が今から楽しみです！(山下)